

非行臨床研究所 代表（元文教大学人間科学部教授）

石橋 昭良（いしばし あきよし）

早稲田大学卒業後、1978年心理職として警視庁入庁。少年警察部門において非行少年の立直り支援、特異な少年事件の心理分析のほか、全国警察の専門職育成や非行少年に関する論文発表などに30年従事。その後、文教大学人間科学部教授として犯罪心理学、異常心理学などの教鞭を取り2022年退職。退職後は非行臨床研究所を開設し、医療・司法・福祉・教育領域の公認心理師への指導や研修会講師を務めている。

これまでに内閣府、文部科学省、警察庁において暴力行為、児童虐待などの研究会委員並びに東京都教育庁の有識者委員を歴任。主な著書は「非行・問題行動と初期支援（学事出版）」、「生徒指導提要（文部科学省）」、「犯罪心理学事典（丸善）」、「少年の薬物乱用とその予防（日本薬学会）」、「インターネットと子どもの攻撃性（児童心理）」、「司法面接をどう使うか—スキル・連携・法制度—（法と心理）」、「低年齢少年の特性を踏まえた調査（警察学論集）」など。